

【主担当部局：教育委員会】

現状と課題

- ①新型コロナの影響の中でも、高校生一人ひとりの希望や特性に応じた就職を実現するため、就職実現コーディネーターを増員し、早期からの求人確保等の就職支援に取り組んでいます。インターシップや職場見学がオンライン中心となっていることから、ミスマッチによる早期離職につながらないよう、生徒が業種や職種、地域の魅力ある企業の情報を得ながら、リアルな体験とオンラインによる学習を組み合わせたキャリア教育に取り組む必要があります。
- ②グローバル化やデジタル化など社会状況の変化が進む中、地域や地球規模の課題を自らの事として捉え、他者と協働しながら持続可能な社会づくりにつなげていく力が求められており、創造的な資質・能力を育む教育に取り組む必要があります。
- ③令和4年度から実施される新たな高等学校学習指導要領に基づき、知識や技能の習得とともに、思考力・判断力・表現力や主体的に学びに向かう力を育むため、探究的な学びなどを通して「主体的・対話的で深い学び」が実践できる教育を進める必要があります。
- ④発達段階に応じた主権者教育に取り組むとともに、将来の自立した消費者としての役割や責任についての学習を進めています。今後も主体的に社会を形成する力を育成する必要があります。
- ⑤手書きで作成している高等学校入学者選抜の入学願書等について、作成作業や中学校での点検・提出、高校での願書および調査書のデータ入力といった業務の負担が生じていることから、志願者の利便性の向上と学校の負担軽減のため、デジタルを活用した改善を進める必要があります。

令和4年度の取組方向

- ①就職を希望する高校生の就職実現につなげるため、一層の求人確保や進路相談に取り組むとともに、地域の魅力ある企業や仕事内容などの多様な情報をデジタル化し、学習端末を活用して入学後の早い段階から地域の企業を題材とした新たな学びに取り組みます。また、働くことの意義や大切さを理解し、社会的・職業的自立に必要な力を身につけられるよう、発達段階に応じたキャリア教育を進めます。
- ②新たなグローバル・リーダー育成プログラムに基づき、将来予測が困難な時代を生きる高校生が、学校を越えて仲間とチームを結成し、データサイエンスやプレゼンの能力を高めるとともに、フィールドワークや海外の生徒との交流等をとおして、これからの社会で必要とされる創造的な資質・能力（コンピテンシー）を育む学びに取り組みます。
- ③予測困難なこれからの時代を生きる子どもたちに、主体的に考え行動する力や、他者と協働して課題解決に取り組む力を育みます。ICTを活用して複数の学校や他県・海外の高校を結ぶ学びや、地域を学び場とした学習など、学校の枠を越えた多様な学びを進めます。

- ④社会の形成者としての自覚と責任を持ち、自ら考え判断し課題の解決に向けて主体的に行動する力を育むため、発達段階に応じた主権者教育、消費者教育、環境教育などに取り組みます。
- ⑤高校入試における受検者や学校の負担軽減と利便性向上のため、入学願書等をデジタル化します。

主な事業

①未来へつなぐキャリア教育推進事業

(第10款 教育費 第1項 教育総務費 4 教育指導費)

予算額：(R3) 27,036千円 → (R4) 22,721千円

事業概要：高校生一人ひとりの希望や特性に応じた就職を実現するため、新たな求人開拓や生徒の就職相談等の就職支援を行う就職実現コーディネーターを引き続き配置します。外国人生徒や障がいのある生徒に対して、きめ細かな相談や求人開拓などの支援を行います。

②(一部新)地域とつなぐ職業教育充実支援事業

(第10款 教育費 第1項 教育総務費 4 教育指導費)

予算額：(R3) 29,542千円 → (R4) 4,861千円

(1,818,602千円 → 154,657千円 ※2月補正含みベース)

事業概要：職業学科における実習環境を整備するとともに、生徒がより高度な専門的知識・技術を習得できるよう、全国規模の競技会への参加や看護・介護の実習を支援します。GAPを生かした学習を通じ、農業に関する実践力を身につけ、経営者や地域のリーダーとなる人材を育成します。また、国の補正予算を活用して、老朽化した農業実習用温室の改修や、新たに自動車整備の基礎となる機械加工を行う実習室の整備を行います。

③実習船建造事業

(第10款 教育費 第4項 高等学校費 2 高等学校管理費)

予算額：(R3) 12,606千円 → (R4) - 千円

(12,606千円 → 845,662千円 ※2月補正含みベース)

事業概要：水産高校の航海実習における生徒の安全確保や、最先端の航海技術を習得できる環境を整えるため、国の補正予算を活用して、令和5年度末の竣工に向けて実習船「しろちどり」に代わる、新しい実習船の建造工事に取り組みます。

④世界へはばたく高校生育成支援事業

(第10款 教育費 第1項 教育総務費 4 教育指導費)

予算額：(R3) 11,803千円 → (R4) 4,560千円

事業概要：高校生の留学支援やオンライン海外交流を実施するとともに、高校生を対象にした「レベル別英語ディベートセミナー」を開催し、英語での発信力や論理的思考力の向上を図ります。また、科学に対する興味・関心を高めるため、三重県高等学校科学オリンピック大会を開催します。

⑤（新）未来を創造するリーダー育成事業

（第10款 教育費 第1項 教育総務費 4 教育指導費）

予算額：(R3) 一 千円 → (R4) 15,740千円

事業概要：新たなグローバル・リーダー育成プログラムに基づき、高校生が学校を越えて「M i e l a b」(ミエラボ)を結成し、SDGsに係る学習やデータサイエンティスト養成講座に取り組むとともに、フィールドワークや海外との交流、研究成果の発表等の探究的な学びを通して、これからの時代に求められる創造的な資質・能力を育みます。また、地域の魅力ある企業や仕事内容などの情報をデジタル化し、新たに構築するポータルサイトと生徒の学習用端末を活用し、企業と学校をつなぐキャリア学習支援員を新たに配置して、高校入学後の早い段階から地域の企業を題材としたキャリア教育に取り組めます。

⑥（新）オンラインとリアルによる学校の枠を越えた学び推進事業

（第10款 教育費 第1項 教育総務費 2 事務局費）

予算額：(R3) 一 千円 → (R4) 3,700千円

事業概要：生徒の多様なニーズに応じた学びを実現するため、通信制課程において、オンラインでの交流や地域での探究活動など学びの充実に取り組めます。全日制課程においては、遠隔授業のモデル構築を進めるとともに、専門分野の放課後講座や大学進学講座など、学校の枠や地域を越えて学べるよう取り組めます。また、これまでに小規模校で取り組んできた地域課題解決型学習を他校でも実施します。

⑦（一部新）高等学校学力向上推進事業

（第10款 教育費 第1項 教育総務費 4 教育指導費）

予算額：(R3) 61,101千円 → (R4) 65,501千円

事業概要：普通科において、グローバルな視点から社会の課題をとらえ、その解決に向けて取り組む人材を育成するため、国事業を活用し、モデル校で分野を横断して学ぶ学際的な教育プログラムの実践研究に取り組めます。A Iドリル教材を活用した、一人ひとりに応じた効果的な学びに係る授業改善のモデルを、全ての県立高校に展開します。また、県立高校でのI C T環境の効果的な活用を進めるための支援員を派遣するとともに、I C Tによる授業で必要となる著作権料を負担します。

⑧学びのS T E A M化推進事業

（第10款 教育費 第1項 教育総務費 4 教育指導費）

予算額：(R3) 2,825千円 → (R4) 2,295千円

事業概要：S c i e n c e (科学)、T e c h n o l o g y (技術)、E n g i n e e r i n g (工学)、A r t (s) (リベラルアーツ・教養)、M a t h e m a t i c s (数学)を活用した文理融合・教科横断的な課題解決型の学びを通して、論理的思考力や探究力を育成するS T E A M教育の実践研究に取り組み、S o c i e t y 5 . 0の時代を生き抜く人材を育成します。

⑨（一部新）入学者選抜事務費

（第10款 教育費 第1項 教育総務費 4 教育指導費）

予算額：（R3） 10,851千円 → （R4） 18,058千円

事業概要：高等学校入学者選抜における学力検査問題が、中学校での学習に沿った適切な内容となるよう問題作成を行うとともに、入学者選抜が円滑に実施できるよう制度や手続きに係る情報提供を行います。受検者や学校の負担軽減と利便性向上のため、令和5年4月入学生を対象とした選抜から入学願書や調査書をデジタル化し、Web出願とするための取組を進めます。